

施策番号	2323		
施策名	広域交通網の充実		
概要	市全体のまちづくりの在り方を念頭に置きながら、都市圏内外を結ぶ自動車専用道路網を形成するとともに、広域高速道路網、広域高速鉄道網構想へ対応し、都市活動の活性化を図る。		
担当局	建設局	共管局	なし
上位政策	232 多様な都市活動を支える交通基盤づくり		

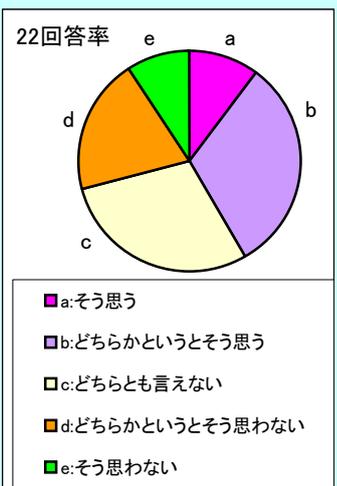
施策の評価

1 客観指標評価

	20年度	21年度	22年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 移動時間（新十条通及び油小路線）（分）	-	-	68	55	-	-	-
2 事業進ちょく（新十条通ランプ整備）（%）	d	b	76.8	100	100.0	100.0%	a
3 事業進ちょく（油小路線（斜久世橋工区）整備）（%）	a	c	48.7	56.0	100.0	56.0%	c
4 事業進ちょく（油小路線（直線区間）ランプ整備）（%）	a	a	100	100	100.0	100.0%	a
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	b	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	京都交通網が充実しているので、外国や国内各地との行き来がしやすいまちだ。					
回答	20		21		22	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	83	11.2%	64	10.6%	59	10.4%
b: どちらかというと思う	238	32.2%	195	32.3%	178	31.3%
c: どちらとも言えない	213	28.9%	178	29.5%	166	29.2%
d: どちらかというと思わない	131	17.8%	110	18.2%	114	20.0%
e: そう思わない	73	9.9%	56	9.3%	52	9.1%
有効回答数	738		603		569	
市民生活実感評価	C		C		C	



* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	20	21	22
客観指標総合評価	b	b	a
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	B	B	B
重み付け		(理由)	
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	<input type="checkbox"/> 市民の実感	この施策は、道路完成に至るまでは市民に成果が実感されにくいいため、客観指標評価を重視する。	

4 原因分析・今後の方向性 ※客観指標総合評価，市民生活実感評価，事務事業評価の結果等を踏まえて記入

【原因分析】

・油小路線（直線区間）及び新十条通（稲荷山トンネル）が供用開始としたことにより、客観指標評価が向上（b→a）した。

【今後の方向性】

・客観指標総合評価は向上したものの、市民生活実感評価については、引き続き改善の取組を進めていく必要がある。

・この施策の目的を達成するために最も重要な道路である「京都高速道路」は、京阪神都市圏を結ぶ道路ネットワークの形成及び国際観光都市・京都の更なる発展にとって必要不可欠な都市基盤であることから、今後とも、その整備を促進していくとともに、関連街路事業の整備も進めていく。

（参考）この施策を実現するための事務事業

	事業名	21年度予算 (千円)*	22年度予算 (千円)*	21年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当局
1	関西国際空港全体構想の推進	11,613	9,573	縮小等による見直し	都市計画局
2	独立行政法人日本高速道路保有・債務返済 機構出資金	76,045	17,295	現状のまま継続	建設局
3	高速自動車国道（阪高）通過市町村関連公 共施設等整備助成金	36,910	34,796	現状のまま継続	建設局
4	京都第二外環状道路整備促進	32,107	32,107	現状のまま継続	建設局
5	油小路線（斜久世橋工区）整備事業	7,593,011	3,755,910	現状のまま継続	建設局
6	京都高速道路関連事業	0	0	現状のまま継続	建設局
7	鴨川西ランプ整備事業	2,392,411	775,911	現状のまま継続	建設局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		10,142,099	4,625,594		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		10,142,099 (0)	4,625,594 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	2323	広域交通網の充実
-----	------	----------

指標名	移動時間（新十条通及び油小路線）（分）
-----	---------------------

担当課	事業推進室	連絡先	213-3450
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

主要箇所間の移動に要する時間

2 指標の意味

整備後に移動時間がどれくらい短縮できるかを示す指標

3 算出方法・出典等

山科区役所～宇治木津奈良方面の移動に要する時間
出典：平成17年度全国道路交通情勢調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	68	55	13分減	-	-	-

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	32	-	-	-

備考	油小路線斜久世橋工区の完成 予定時期：H22年度末
----	------------------------------

5 評価基準

主要箇所間の移動に要する時間については事業が完成していないので評価することができない。

6 基準説明

7 評価結果

20	21	22
-	-	-

指標名	事業進ちょく（新十条通ランプ整備）（%）
-----	----------------------

担当課	事業推進室	連絡先	213-3450
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

事業進ちょく状況

2 指標の意味

事業費ベースで事業がどれくらい進ちょくしたかを示す指標

3 算出方法・出典等

事業執行額÷予算
※予算には前年度の繰越金を含む

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	76.8	100	23.2%増	100.0	事業執行額＝予算とする。	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	14609 百万円	20年度	98.2%	平成20年度までの執行額÷総事業予算 ※予算には前年度の繰越金を含む

備考	H20.6.1 新十条通(稲荷山トンネル) 供用開始
----	----------------------------------

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が
a：80%以上～100%
b：60%以上80%未満
c：40%以上60%未満
d：20%以上40%未満
e：20%未満
達成度＝事業執行額÷予算により算出
（予算には前年度の繰越金を含む。）

6 基準説明

事業進ちょく状況を予算に対する執行額の割合で表した。100%の達成を最高のaとし、20%の刻みで設定した。
（参考）
平成21年度
事業執行額：-百万円
予算：-百万円

7 評価結果

20	21	22
d	b	a

施策名	2323	広域交通網の充実
-----	------	----------

指標名	事業進ちよく（油小路線（斜久世橋工区）整備）（％）
-----	---------------------------

担当課	事業推進室	連絡先	213-3450
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
事業進ちよく状況

2 指標の意味
事業費ベースで事業がどれくらい進ちよくしたかを示す指標

3 算出方法・出典等
事業執行額÷予算
※予算には前年度の繰越金を含む

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	48.7	56.0	7.3%増	100.0	事業執行額＝予算	56.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	27000 百万円	22年度	52.6%	油小路線斜久世橋工区の完成 予定時期：H22年度末

根拠
平成20年度までの執行額÷総事業予算
※予算には前年度の繰越金を含む

5 評価基準
単年度目標に対する達成度が
a：80%以上～100%
b：60%以上80%未満
c：40%以上60%未満
d：20%以上40%未満
e：20%未満
達成度＝事業執行額÷予算により算出
（予算には前年度の繰越金を含む。）

6 基準説明
事業進ちよく状況を予算に対する執行額の割合で表した。100%の達成を最高のaとし、20%の刻みで設定した。
（参考）
平成21年度
事業執行額：4231 百万円
予算：7554 百万円

7 評価結果

20	21	22
a	c	c

指標名	事業進ちよく（油小路線（直線区間）ランプ整備）（％）
-----	----------------------------

担当課	事業推進室	連絡先	213-3450
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
事業進ちよく状況

2 指標の意味
事業費ベースで事業がどれくらい進ちよくしたかを示す指標

3 算出方法・出典等
事業執行額÷予算
※予算には前年度の繰越金を含む

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	100	100	-	100.0	事業執行額＝予算	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		6,729 百万円	18年度	98.8%	H20.1.19 油小路線（直線区間） 供用開始

根拠
平成20年度までの執行額÷総事業予算
※予算には前年度の繰越金を含む

5 評価基準
単年度目標に対する達成度が
a：80%以上～100%
b：60%以上80%未満
c：40%以上60%未満
d：20%以上40%未満
e：20%未満
達成度＝事業執行額÷予算により算出
（予算には前年度の繰越金を含む。）

6 基準説明
事業進ちよく状況を予算に対する執行額の割合で表した。100%の達成を最高のaとし、20%の刻みで設定した。
（参考）
平成21年度
事業執行額：- 百万円
予算：- 百万円

7 評価結果

20	21	22
a	a	a